

## 平成23年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名

軽井沢高等学校

課程 (全・定午前午後夜ⅠⅡⅢ・通)

本年度実施した「校外の人々を対象とした研究授業」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	平成23年11月9日(水)						
実施年月日(曜)	平成23年11月2日(水)						
授業時間(時限)	14時30分～15時30分(6時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	2学年・地歴科(世界史B)						
授業者名	佐藤 真平						
形態	教育実習・初任研・10年研・ <u>その他</u> ( ) (○をつける)						
授業公開対象者	中学校・高等学校教員						
授業参観者数	校内		校外			その他 ( )	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒		
	8人	人	人	人	人	人	8人
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	東信地区の中学校、高等学校に案内メールを送信した。 受付の設置(校舎案内図を配付)、参観者へ資料配付(指導案・配付プリント等)						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	<p>&lt;時間&gt;15時45分～16時25分 &lt;研究会参加者&gt;学校長・教頭・社会科教員3名 &lt;感想・意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料・教科書のどこを学んでいるのかを、板書において明記する方が良いと思う(教科書P～、資料集P～の①など)。</li> <li>説明には、類似例を挙げずに、その時代の事例での説明が必要。</li> <li>黒板を3等分して、板書することは良い。地図を描く場合には、その3等分の中央に描くことで、授業に利用しやすいのではないかと。</li> <li>説明に終始せず、資料を用いて生徒に読み取らせる学習も必要。</li> <li>導入での中国の統一と分裂の図示は、生徒の興味・関心を持たせることに有効であった。</li> <li>生徒の顔を見て、きちんとした姿勢で授業を実施できていた。</li> </ul>						
成果と課題	<p>&lt;授業者の感想&gt;</p> <p>今回、多くの意見をいただき、自分の授業を見直す良い機会となった。日頃、板書による説明に終始しがちであったが、生徒自らに資料を読み取らせるなどの能動的な学習を導けるよう工夫していきたい。また、生徒がダイナミックに歴史を感じられる、おもしろいと感じられる授業を展開できるよう、教材研究を深めていきたい。</p>						



ただいま、説明中